

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

道内親の会7団体の願いを束ね、北海道教育委員会へ提出

一日も早く、楽しく

安心して学べる学校を!

特別支援学校の過大過密、教室不足解消を求める要望書

共同提出が実現

10月26日(水)、道育成会を含む障がい児者親の会7団体と北海道障害児教育フォーラム実行委員会を加えた8団体によって、道内特別支援学校(67校)の教室不足などに対し、教育環境の改善を求める要望書を北海道教育委員会に提出しました。

当初「北海道重症心身障害児(者)を守る会」より、本会に対し要望書の共同提出の申し出があり、快諾したことはもちろんですが、その後、本会が中心となって各団体に呼びかけを行い、下記に示す、多くの団体での共同提出が実現しました。

道内の特別支援学校の現状

少子化が進行する中、特別支援学校に通う児童生徒数は個々の特性に合った指導が受けられることや、就労に向けたプログラムが充実しているとし



できなくなっています。しっかり状況を把握し、早期の対応をお願いいたします。」札幌市育成会の一條さんからは

「会として10年以上前から教室狭隘化の解消をお願いしてきました。時には校長先生や副校長先生からも力を貸してほしいと頼まれました。スピード感をもって改善して下さい。」といった発言が続きました。

子どもたちが楽しく安全に過ごせる学習環境の早期実現に誠実な対応を期待します。



提出時や記者発表時における代表者発言

道自閉症協会札幌ポプラ会の末永さんからは「場所がないと落ち着けるスペースがなく、子どもたちに悪影響が出てくるので少しでも改善して下さい。」重症児を守る会の浦西さんからは「北見支援学校は現在、開校当時から比べると2倍の定員。教室不足だけではなく、給食を教員に配食することが

て、道内においても増加傾向にあります。文科省の調査で道内の特別支援学校では、音楽室や図工室などを普通教室に転用したり、一つの教室を間仕切りなどで分割し、一時的な対応をしている教室が昨年10月時点で143教室。このうち授業に支障が出て整備の必要がある教室と、新たに必要ない教室を合わせると106教室が不足していることが分かりました。また、教室不足の影響で、車いすやバギーといった福祉機器や教材等を廊下に置かざるを得なくなり、学ぶ環境はもちろん、安全に危惧する声も聞かれます。

【要望事項】

1. 教室不足解消のため校舎の増築、学校の増設を。
2. 希望する児童生徒が身近な地域で学べるように通学時間を1時間以内。
3. 在籍数の上限を一校、150人に。

【要望団体】

- ▼北海道手をつなぐ育成会 ▼札幌市手をつなぐ育成会 ▼北海道重症心身障害児(者)を守る会 ▼北海道小鳩会(ダウン症児親の会) ▼北海道自閉症協会 ▼北海道自閉症協会札幌分会札幌ポプラ会 ▼北海道学習障害児者親の会クローバー ▼北海道障害児教育フォーラム実行委員会

道内20団体・13個人計119名の参加者 『特別研修会』で学びを深める

平成21年、北広島しようがい児者を持つ親の会から「家族や当事者の支援に係る事業所職員、教職員等を対象とした研修活動に活かして欲しい。」と道育成会に多額の寄付が寄せられました。願いを受け、平成23年「障害者虐待防止法とはなにか?」をテーマに「野沢和弘氏 毎日新聞社論説委員(当時)」をお招きし、道育成会が主催する「第1回 特別研修会」が開催されました。以後、毎年開催を続け、本年は数えて第11回目となります。
(昨年は「コロナ感染症の影響を受け、中止」)

この度の特別研修会では、準備から実施に至るまで「オホーツク地区育成会(親の会)連絡協議会」のご理解と、力強いご支援をいただき、常に道育成会と連絡、調整を図りながら取り組みが進められました。

研修テーマは、北見市手をつなぐ育成会における書面総会の折、要望が寄せられていた「親なきあと問題」と「差別解消法」に関する内容とし、多くの方々に参加しやすいように昼、夜の2部構成に。講師は「渡邊護氏(障がい者の親なきあと問題相談室ファミリア代表・司法書士)」にお願いしました。開催方法についても、コロナ感染症の影響を考慮し、オンライン(Zoom)のみによる実施。そして、1000枚に及ぶチラシを作成し、オホーツク地区を中心に各育成会はもとより、学校や事業所、公共施設



等に配布、置かせていただき、育成会活動の紹介と研修会への参加を呼びかけました。その結果、11月2日、昼の部

「親なきあとを考える」には、9ヶ所44名。夜の部「障害者差別解消法について」には、8ヶ所75名の参加をいただくことが出来ました。お寄せいただいた感想をご紹介します。



- ・「親なきあとと先のことと捉えていましたが将来を見据えた大切な問題だと気付かされました。障害者権利条約の「国連総括所見」について、いつか、解読していただけると嬉しいです。
- ・「法人後見」良いですね。増えてほしいです。
- ・制度の課題も整理されて分かりやすかったです。
- ・チャットによる問答形式の場面もあり、「コロナ禍にあっても情報が得られ、勉強になりました。」

「ご支援、ご協力に心から感謝 カレンダー残部わずかに！」

本年度6年目を迎える道育成会事業「いくせいかいカレンダー2023」ですが、今年も多くの方々にご協力をいただいております。心よりお礼申し上げます。

カレンダーに採用された作品は、どれも独特の手づくり感が漂うことから、年々ファンも増え、すっかり定着してきました。なお、昨年に引き続き、11月末までは札幌市手をつなぐ育成会「元気ショップいこくる」で原画展を開催していただきました。

私たちはカレンダーの製作、販売を通じて、

たくさんの方々「障がい」や「福祉」について語り合いたいと願っています。何より、知的障がい者の作品発表の場が多くない現状の中で、少しでも増やしたいと考え、作製を続けてきました。また、お買い求めいただいた収益は育成会活動に活かして参ります。



お申し込みは12月20日まで。各地区育成会や道育成会へお電話か、HPから注文をお願いします。お急ぎください。

全国育成会連合会による

「8月豪雨・台風15号」

被災者へ義援金募集

全国育成会連合会は激甚災害の指定を受けた標記の災害について被害に遭われた皆様に謹んでお見舞いを申し上げますと同時に、義援金を募集することとしました。皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、義援金につきましては、被災した育成会会員の皆様を対象とし、お見舞金としてお渡し致します。一旦、道育成会で取りまとめて送金します。改めて皆様のご協力を呼びかけます。

【道育成会取りまとめ口座】

北洋銀行 道庁支店

普通預金 3183166

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

・振込手数料は、各自でご負担願います。

全国研修大会・新潟県大会

11月5日(土)、新潟県上越市にて開催された標記の大会に参加しました。大会テーマは「総合支援法の見直しと就労支援事業の多様化、農福連携の可能性」です。

午前は行政説明「障害者総合支援法改正施行後3年の見直しについて」と題し「厚労省就労支援専門官 大工智彦氏」から、令和6年度法改正の見直しについて説明がありました。

午後は「元農林水産大臣である山田正彦氏」より「食の安全・農福連携の可能性」をテーマとした「基調講演」、そして、シンポジウムと続き、「全育連 田中正博専務理事」のコーディネートで日中支援事業所から3名のシンポジストより、特徴的な取り組みや現状における課題などが報告され、熱心な意見交換が行われました。

参加者の関心が高かったのは行政説明における制度の見直しに向けた検討状況でした。改正案では「就労選択支援」という新しい事業の創設を目指しています。就労系サービスを利用するにあたって就労アセスメントを作成し、障害のある人が適切なサービスを受けられることができるように評価をするというものが、就労系サービスを利用する際、基本的に



就労アセスメントで評価を受けることが必須になるとともに、就労継続支援B型であっても受給者証の更新時には、再度のアセスメントによる評価を受けることになること。この狙いは本人の希望や就労能力、適性などを見える化することで、就労先や働き方について継続的により良い選択を支援し続け、障がいのある方の雇用と福祉の連携をより密にすることにあります。本事業が積極的に活用されれば現在の就労Bの在り方も変わってくるものと思われれます。

来年度は長崎県での開催、北海道からも多くの方々が参加できることを願っています。

全国運営委員 門内 勇治

コロナなんかには負けないぞ!

道内各地の育成会、只今奮闘中

バージョンアップを

めざして! 網走市

一生懸命に手をかけて一つの作品を仕上げることは無類の喜びです。網走市手をつなぐ育成会はコロナ禍にあっても『本人会』・『水泳』・『手芸』についてはできる限り活動を続けてきました。

昨年は丸型巾着をミシンで作る手芸教室を行い大好評! ミシンが苦手な人も参加できるように『超やさ



しい』『やさしい』『ふう』と3コースを用意、さらに感染対策から自宅で作業をされる参加者に独自のYouTube動画を作成し限定配信しました。特に「超やさしいコース」は選んでおいた布が組み合わせられていてひっくり返すとここからの参加です。返し口を接着して好きな色の紐を通すだけ! 楽しく満足度の高い手芸教室になりました。

今年(10月9日)は最後に通すものを紐ではなくバネ金口にし、サイズも手のひらサイズの可愛いものにバージョンアップ。布も寄付していただいた素敵な柄をたくさん裁断して用意。前回の参加者は要領を得ていてテキパキ縫い進め、完成! バネも上手に通して最後はトンカチで「エイッ」と叩いて仕上げます。もう一個、もう一個とたくさん作った参加者もいましたが、初めての参加者も自分で仕上げたポーチに大満足、笑顔が溢れました。動画や型紙は当会のブログから見ることが出来るようにしましたので、ぜひ、ご覧下さい。

網走市手をつなぐ育成会 理事 小西 栄理

12月の予定

3日(土) 魅力ある事業所づくり研修会
9日(金) 道育成会 第3回理事会



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険(特約型) 2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようにお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
[2020年1月作成 19-T06633]

0120-322-150
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

病氣やケガで入院したとき
入院給付金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
事業所協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7(4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp


★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 ワークセンターはまなす
〒080-0057 帯広市柏林台中町1丁目4-1
TEL(0155)34-0553/FAX(0155)66-9391
E-mail: hamanasukyoudousagyousyo@purple.plala.or.jp

★就労継続支援B型事業所 ☆定員 27名

★主な作業

- ☆木工作業
(木のおもちゃ、スマートフォン立、バードハウス、万能台他)
- ☆縫製作業
(バック、エプロン、巾着、ふきん、フェルト人形他)
- ☆下請け作業
(自動車部品箱磨き、スリッパ拭き、菓子箱折り、タオルたたみ他)
- ☆清掃作業
(公共施設の掃除-委託作業)



みんなで仲良く！楽しく！
いきいき！と仕事ができる
よう頑張っています